

# 市制施行三十周年記念事業

## 南国市青年市民会議設立

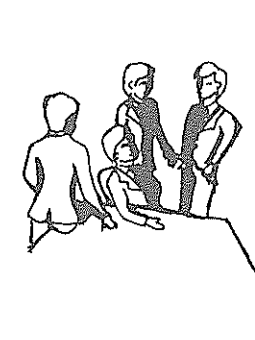
### に向けて取り組みが進む

青年から市政に思い切った提言を―と、現在市では南国市青年市民会議の設立が進められています。

これは、市制施行三十周年記念事業の一環として、社会経済情勢に対応した市政の実現のため、社会の中心となつて活躍しているおおむね四十歳までの青年に市の現状を見つめ、課題、展望などを話し合つて自由な発想の中から市政への提言をしてもらおうというものです。

市の特性を引き出し、さまざまな領域の人との触れ合い、心の通い合いを通じて資質を大きく伸ばしてもらおうという「人材育成のための事業」でもありません。

これまで、市内の各団体の代表者で構成されている市制施行三十周年記念事業実行委員会や庁内で検討を重ねてきた結果、三月中にも設立することに決定。青年市民会議は、市内に住むおおむね二十五歳から四十歳までの委員三十人で構成し、自薦、他薦は問いません。任期は二年で再任も可能。欠員が生じた場合は速やかに補充するものとし、常に全員がそろつて活発な研究や討議を行い、意見が提言できるような状態にしたいと考えています。



また、今年五月下旬に来訪予定の岩沼市青年市民会議の皆さんとのシンポジウムでも中心的な役割を果たしてもらい、今後の積極的な姉妹都市交流の原動力としての活躍も期待されています。

我こそは―というあなたの参加をお待ちしています。また「この人なら」という推薦でもけっこうです。三月十五日までに南国市役所企画課(☎2111内線422、423)まで連絡してください。

## 第5回土佐日記 門出のまつり 紀氏邸跡に150人



「次の世代への史跡保存の掛け橋」と乾会長があいさつ

加をお待ちしています。また「この人なら」という推薦でもけっこうです。三月十五日までに南国市役所企画課(☎2111内線422、423)まで連絡してください。

職の続経の後、土佐まほろば囃子振興会の皆さんが、「土佐日記」という曲を奉納。乾会長は「この事業が次の世代への史跡保存の掛け橋となれば」と話していました。

また、今年には紀氏旧跡碑が建立二百年を迎えたことや市制施行三十周年であること、国府地区史跡保存会も三十年目を迎えることを記念し、十月に行われる「土佐日記船出のまつり」に合わせ歌碑を建立することにしています。

この日に先立って二十七日には国府小学校の児童百二十五人が「歴史的なものがたくさん残っているこの地を大事にしよう」とゆとりの時間を利用して紀氏邸跡から国分寺までのまほろばの道を清掃。寒風の中で国分川の堤などに落ちていた空き缶やビニールを拾い、約一時間かけて二トトラックにいっぱいのごみを集めました。

※土佐日記船出のまつり「文学性豊かな紀行文「土佐日記」を通して優れた文化と出会い、新たな祭を呼び起こして地域に定着させようと、市制施行三十周年記念事業の一つとして十月に実施が計画されているもの。

一月二十八日に比江の紀氏邸跡で第五回土佐日記門出のまつりが催され、地元の方など約五百五十人が参加して紀貫之をしのびました。

これは、国府地区史跡保存会(乾常美会長)が主催して、一千五十余年の昔「土佐日記」によって土佐の国を広く世に紹介した紀貫之をしのび、国府の史跡を広く紹介するため、毎年土佐日記に記されている門出の日である旧暦十二月二十一日に行っているもの。

祭典では国分寺と永源寺の住